

GPパウダーのすすめ

～下痢による脱水・飲水促進に～

グローバルピッグファーム株式会社
農場コンサルサービス部

GPパウダー

(混合飼料)

- ブドウ糖、グリシン(アミノ酸)、クエン酸など豚用に配合された嗜好性が高い、理想的な電解質飲料です。
- pH4.4と幼豚の胃に特にやさしい弱酸性で、大腸菌の侵入増殖を防ぎます。
- 水分塩類の喪失防止に有効。脱水を防ぎます。特に体調不良で十分水を飲ませたい時や幼豚の餌付け時に有効です。
- グローバルグループで20年以上にわたり広く愛用されています。
- 70gの包装で100個の包装が1単位です。

GPパウダーって何ですか？

豚は極度のストレスがかかると、下痢になりやすくなります。

腹部の冷え、餌の切り替え、不衛生などが原因で下痢をすると水分だけでなく塩類も喪失し、消耗してしまいます。

～熱発・便秘対策として～

- ①分娩前の母豚への飲水促進は、熱発・便秘に有効です。
- ②母豚が不調だと、排菌、あるいは乳質が変化し子豚が下痢をしやすくなります。
- ③母豚の場合にはかなり薄めた方が使いやすいでしょう(10L)。

～餌付け時の補助に～

- ①哺乳期の下痢発生時は、水だけではなく塩類の入った電解質が必須です！
- ②子豚に餌を食べさせるには、まず水を飲ませることが先決です。
- ③GPパウダーは嗜好性が高く、生後3日目には寄ってきます。
- ⑤離乳後の本格的な餌付けには、クリープ飼料に打ち水として利用できます。
- ⑥下痢によっては抗生物質が有効な場合があります。獣医師と相談して対応を進めてください。

使用方法

- 一袋のパウダーを2～10リットルの水に溶かす。
- きれいなピギーや鉄箱などにジョウロやひしゃくを利用して与える。
- 離乳舎ではフィードボード上にパウダーを適量打ち水して嗜好性を高める。
- 食べない豚には積極的に強制餌付けもする。



(上)分娩舎ではピギーや鉄箱に
(右)離乳舎では餌付け時に、ボード上に
打ち水のように利用します。
食べやすいばかりか、嗜好性が高い
ので嗅覚でたちまち寄ってきます。

*この時寄ってこない豚へはえさ団子を
2~3度口に入れてあげることが
重要です！

